

企画展

# 遠い海

— かつて、私たちは海で生まれた。  
— 今、私たちは海のことをどれだけ知っているのだろうか。

2006年 7月15日〔土〕～ 8月27日〔日〕

会期中無休 9:00～17:00 (土曜日は19:00まで) \*入館は、閉館時間の30分前まで

■会場 鳥取県立博物館 第1特別展示室

■入館料 常設展示料金【一般：180円 \*20名以上の団体は150円】**無料**：小・中学生、高校生、学生 学校教育活動での引率者/70歳以上の方  
障害のある方・要介護者等及びその介護者

■期間限定 7月15日～7月31日  
大型マンボウ(275cm)のはく製展示  
境港市「海とくらしの史料館」所蔵

■ご案内：駐車場に限りがございます。満車の場合、お堀端および鳥取県庁の駐車場をご利用ください。

主催：鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館 <http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm>

協力：境港市・海とくらしの史料館・鳥取県水産試験場・鳥取県栽培漁業センター・とっとり買物かっこ館 [とっとり県民カレッジ連携講座]

〒680-0011 鳥取市東町2-124 TEL 0857-26-8042 FAX 0857-26-8041 E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.jp

Tottori Prefectural Museum  
鳥取県立博物館

企画展

# 遠い海

約38億年前に最初の生命が誕生した場所である「海」には、陸上よりはるかに多種多様な生物がすんでいます。地球上の生物は、すべてこの海から進化しました。まさに「母なる海」です。また、人間は、海から多くの恩恵を受けて生きています。しかしながら、私たち人間は、海のことをどれだけ知っているのでしょうか。海は、近くして遠い存在であると言わざるを得ないのでしょうか。

この展覧会では、このような母なる「海」のしくみ、そしてそこにすむ多種多様な生物とそのつながりを、鳥取県に漂着した貴重な標本を交えて紹介します。このことから、海を知り、そして守っていくことの大切さを考えてみます。



① シクリザメ「はく製」  
② ウバザメ「はく製」  
③ アオブダイ「はく製」  
④ フラクダアン「複製」  
⑤ リュウグウオキナエビス「標本」

## 展示構成

### I 海のしくみ

日本海のしくみ/など

### II 海の生態系

海の世界 / 暗黒帯の生態系/など

### III 多様な海の生物

サメの世界 / 海にもとった哺乳類/など

### IV 海と人間

海と環境問題/など



©海遊館



⑥ ジンベエザメ ⑦ アオウミガメ ⑧ カマイルカ

※展示は、はく製・複製資料です。



リュウグウノツカイ遊泳映像 ©梶並政晴

## 関連事業

### ■マンボウ・シンポジウム

『今、明かされるマンボウのなぞ! -DNAと形態からせまるマンボウ研究最前線-』

◇7月16日(日) 14時~16時 ◇鳥取県立博物館講堂(無料)

◇パネリスト: 松浦啓一(国立科学博物館)

相良恒太郎(三和酒類株式会社)

吉田有貴子(広島大学大学院)

コーディネーター: 川上靖(鳥取県立博物館)

### ■「海」へのメッセージ・コンテスト

◇会期中常時 ◇企画展会場内

### ■おりがみコーナー「海の生きもの」

◇会期中常時 ◇企画展会場内



©相良恒太郎



### ■交通案内

JR鳥取駅からバスで

●砂丘、湖山、賀露方面行き / 「西町」下車  
約400m

●市内回り岩倉、中河原方面行き / 「わらべ館前」下車: 約600m

●100円循環バス 青コース / 「裁判所前」下車: 約600m

ご案内: 駐車場に限りがございます。お堀端および鳥取県庁をご利用ください。  
**鳥取県立博物館** Tottori Prefectural Museum  
〒680-0011 鳥取市東町2-124 TEL 0857-26-8042  
<http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm>